



SSKP つくしんぼの会報誌

つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

1999年3・4月号
(No.31)

編集～フリースペース
つくしんぼ
町田市小川1511番地
TEL 042(796)8468

二六六歩目からの春

マーチ

あれから一年

補助金を貰えるようになって、いつしか三六五日が過ぎました。おかげ様で単年度事業として切り捨てられることもなく、今年度も補助金が頂けそうです。(昨年度より合計額は少ないんですけどね。ハハハ)

思えばこの一年、右も左も分からぬままに三歩進んで二歩退がるを繰り返してきたつくしんぼです。歩きながら「何をどうしていったらいいか?」をひとつずつみんな考えてきたように思い出されます。

目標!! 1050人

実は去年の四月頃、とっても不安でした。だって職員すらちゃんと決まっていないうちに新年度に突入してしまっただけです。そんな状態で、年間のべ1050人もの通所人数を本当に確保することが出来るかどうか?

それまでのつくしんぼは遊びに來たい時にだけ親と一緒に遊びに來るといふ場所でした。でも、子どもがずーっと来たくなくなっちゃったらどうなるの? 人数が足りないのと補助金を返さなきゃならないんだから……。

だけど、そんな不安もすぐに消えました。職員が見つかり、母子分離が出来る

ようになると、みんな来るわ。新年度から新しく会員になったメンバーも、最初は不安そうな顔をしていたものの、一ヶ月もたたないうちに楽しく参加出来るようになってくれました。

子ども達がどんどん来るようになって、今度は職員体制が問題になりました。なんせ予算の関係上、人数を増やすことが出来ないのですから、そこで思いついた方法が、週間の参加スケジュール用紙を作って親達に毎週提出して貰い、参加人数調節をするというものでした。よく考えてみれば当たり前のことなのに、そんな当たり前のことすら出来ていなかったつくしんぼだったのですから、今となってみれば笑い話です。

二年目のジンクス? ただ、いつまでも黙っているわけにもいきません。つくしんぼの最上級生は高

通信がおとなしい?

「つくつく通信がおとなしくなった」そう皆さんからよく言われました。でも、本音を言うと、これはある程度は仕方ないことだと思っていました。だって、この通信は「補助金を獲得」することが目的だったのですから。だから毎号繰り返し「金をくれ!! 金をくれ!!」って叫び続けたわけで……。

昨年の四月以降は、デイサービス施設である以上、今より多くの補助金を得ることは制度上不可能。そう思うと声もついつい小さくなり……。

二年目のジンクス?

ただ、いつまでも黙って

♪♪つくしんぼ日記♪♪

2月27日(土) 天気 くもい

つくしんぼにやってきましたステップワゴンでここにも行ってないから、ドライブに行こう〜っ……というわけで房総半島へ花摘みに行く計画を立てて、いざ出発!!

ところが、久里浜に到着したものの、強風のためにフェリーが動いていない!?

さてここへ行こう?……。

仕方なくUターン。目的地を八景島シーパラダイスに変更です。

でも、この変更は大正解でした。水族館も遊園地も思いきり楽しめました。天候不順であいていたのも大ラッキー。フェリーには乗れなかったけど、八景島一周の遊覧船にちゃんと乗れたから満足満足。

いやあ、行きあたりばったいが得意のつくしんぼらしい一日でした。



校二年なのです。子どもの施設であることはもちろんですが、他のこともいろいろと考えたいかなければならない時期にきています。

つくしんぼとは別に、南地区の障害児の親達が集まって「南地区に作業所を!! つばさの会」も活動をスタートしています。この会とも情報を交換し合い、これからのことを考えていきたいと思っています。

そう、つくしんぼには二年目のジンクスなど断じてないのです。ジャイアントの高橋クンと同様に……。

デイサービス事業

に關しての疑問

つくしんぼは東京都のデイサービス事業としての補助金を受けて運営されている(放課後保障)のための施設です。学童保育的な活動なので療育はしていません。ゆえに「療育は他の施設でお願いします」と親達には言っています。

ところが、他の療育施設もまた「デイサービス事業として活動をしていくわけでは」

そして先日、年度末になって「98年度分を含めて他の施設との名簿の重複を解消したい」行政サイトから連絡がありました。あそらくは開発には無駄金を捨てている東京都の予算削減に

ささえる会「入会・ご更新

ありがとうございます

- 真野様、豊田様、杉崎様、曾輪様、吉野様、佐治様、池田様、奥山様、奥平様、上原様、江端様、菅原様、渡辺様、根岸様、堀内様、平井様、飯塚様、前山様、清水様、小川様

「寄付・ボランティア

ありがとうございました

- 高尾様、坂井様、加藤様、鈴木様、大久保様、高倉様、箱崎様、岩本様、江端様、戸嶋様、安藤様、松下様、須永様、ネクストまちだ21様、南郵便局様、ご近所の匿名希望様
- (2・3月)

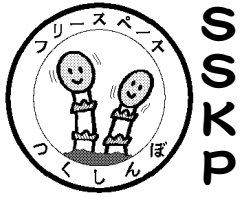
関する通達か何かがあつてのことでしょうか……。

それにしても無茶苦茶ではないでしょうか。年度末になつてからですよ。しかも来年度からではなく今年度からなんではない!!

例えば、5月の時点でAという名の施設に通っていた障害児が、年度途中で辞めて、他のBという施設に通い始めたとしたら、名簿上の重複はどうなるのでしょうか?

それより何より、つくしんぼに通っている子ども達は療育を受けてはいけないのでしょうか?

まったくわけの分からぬ制度ばかりで頭が痛い今日この頃です。



つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

つくしんぼの活動時間は
月曜日～金曜日、放課後
～午後5時までです!!



親父の会「MOK」

宇佐美 操

oyaji、おやじ、親父……。

いい響きで私はこの言葉が大好きで、私の父ももう老人になってしまいました。仕事人間で小さい頃はほとんど遊んでもらったことはなかったのですが、なぜか山へつれていったもらったことが今でも記憶の中にあり、悪いことはあまり浮かんできません。

そんな頃の親父と同じ年代になって、もともと子供とふれあいたいと思い、たまたま親父の会を結成するという話を

Mさんから聞いてこういう人がいたのかとびっくりし、又うれしく思いまして会に入らせて貰った次第で、今に至っています。

当初は10人でスタートし、少しずつですが賛同する人が増えて来て、年中行事も徐々に増えて、MOK最大の行事伊豆大島旅行は3回を数えるようになりました。

MOKのお父さん方は仕事があるので全員参加することはあまりないのですが、みな一生懸命に取り組みそのパワーはすごいものです。

一例をとりますと、養護学校の8月に行われる祭り（盆踊り）にMOKで出店する品物を確保しにいくんですが、その品物とはカブト虫&クワガタ虫を茨城の北浦に夜取りいくのですが、朝方まで取り、50匹位確保します。もちろん子供は連れていきませんが、もう童心に返り明るくなって、皆気づくんですね。「帰ろ

うか」と。それで、その日に寝る暇なく、今度は魚取りに、子供を連れて埼玉まで行くんですね。子供たちは喜んでる子もいるし、ポーカフェイスの子もいますが、こうして外で皆と交流を深めると楽しいし、「なにやってんの」と近所の人たちが声をかけてきてくれます。

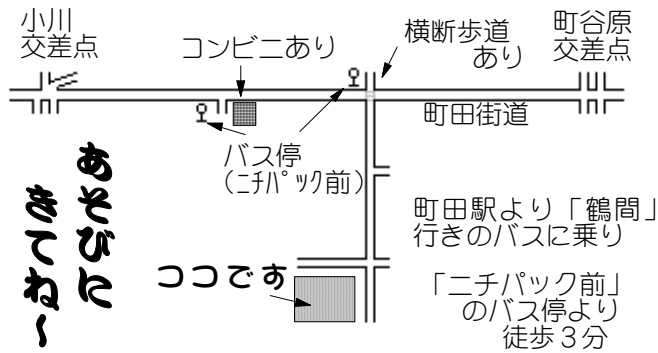
そんなことで、親父たちは子供たちと楽しんでます。いや子供たちをだしにしているのかなー。それでもいいと思ってるし、子供たちを外に出し、社会に一步でもとけ込ませていきたいと思っています。

でもでも山下さんのパワーにはMOKが束になってもかなわないです。(^^;)

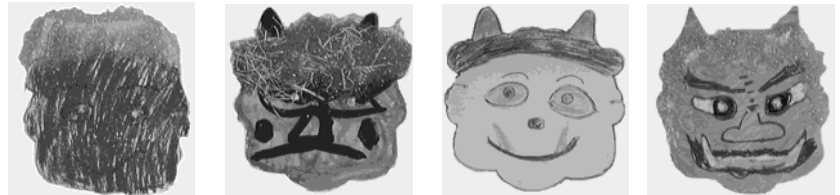
「MOK」は東京都葛飾区にある水元養護学校に通うの障害児の父親達で結成した“父親の会”です。宇佐美さんは副代表をなさっています。
(宇佐美さんのE-mailアドレス
ogenkide-usa@hi-ho.ne.jp)
ご寄稿、ありがとうございました。

MOKのホームページ <http://www.amy.hi-ho.ne.jp/win-hashii/index.htm>

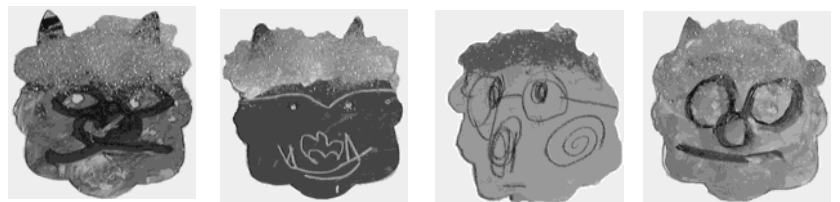
つくしんぼの地図



田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分です



つくしんぼ美術館 節分の時に作った鬼のお面たちです



「つくしんぼをやる会」
加入会 更新のお願い

私たちは、ハンディを持つ子ども達の放課後活動の場としてフリースペースつくしんぼを一昨年五月に開所し、おかげさまで九八年四月より補助金を頂ける団体として認められるに至りました。しかしながら、公的資金だけでは、運営が苦しいことは相変わらずです。そこで皆様にお願いがございまして、本当に勝手なお願いで申し訳ないのですが「つくしんぼをささえる会」に入会しては頂けませんでしょうか。よろしくお願ひ申し上げます。

郵便振替口座番号 00120-7-168283
加入者口座名称 フリースペースつくしんぼ

編集後記

みなさん、風邪をひくなら一斉にひきましょう!!
……などと2月号に冗談っぽく書いたのがいけなかったのでしょうか。しっかり自分自身がインフルエンザにやられてしまいました。それも思いっきり重症のやつでして。40度の熱がなんと1週間、その後もインフルエンザの後遺症なのか、不思議な不思議な無気力病におかされ、丸々1ヶ月がアツという間に過ぎて去っていきました。

3月に入って、なんとか復調は出来たものの、年度末の決算やら新年度の予算やら、職員の交代の問題やら、ウチの子どもの調子がよくなって始終泣きわめくやら、他にもあれやこれやで、通信を作っている余裕が全然ない状態……。結局、3月号をお休みさせて頂きました。m(__)m
おかげ様で新職員もなんとか決まり、4月からの活動もスタートしています。せめてこの通信作りを新職員に任せられればなあ……。

発行所 東京都世田谷区砧6-26-21
障害者団体定期刊行物協会
定価 50円